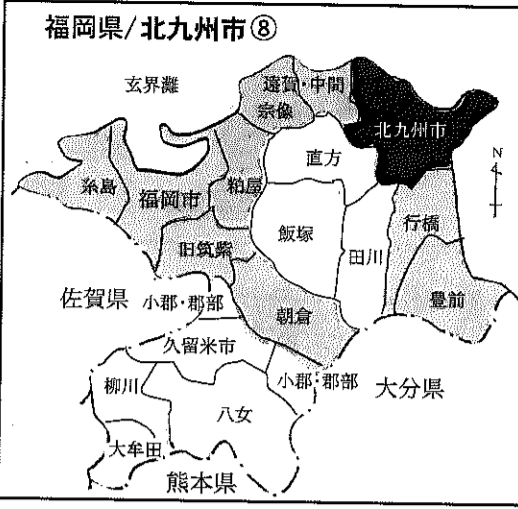


2012年7~9月/北九州市圏の業者別着工実績ランキング (棟)

順位	業者名	実績	北九州市	遠賀	中間	行橋	豊前
1	大英産業	62	51	10	1	1	1
2	東宝ホーム	43	35	3	5	5	5
3	積水ハウス	31	24	2	2	1	0
4	大和ハウス	31	30	1	1	0	1
5	昭和建設	29	3	25	1	1	1
6	セキスイハイム	27	19	7	2	1	8
7	アール・エス・エル	26	16	7	2	1	1
8	タマホーム	24	17	2	3	4	4
9	アール・エス・エル	21	17	1	1	5	3
10	アール・エス・エル	20	15	5	0	1	0
11	アール・エス・エル	19	18	1	1	1	1
12	アール・エス・エル	18	16	1	1	1	1
13	アール・エス・エル	15	14	1	1	0	2
14	アール・エス・エル	15	11	7	1	2	3
15	アール・エス・エル	15	10	1	2	0	3
16	アール・エス・エル	14	13	0	0	1	0
17	アール・エス・エル	14	14	0	0	1	0
18	アール・エス・エル	12	8	1	1	0	3
19	アール・エス・エル	12	11	1	1	0	0
20	アール・エス・エル	10	9	1	1	0	0
21	アール・エス・エル	9	6	9	0	0	0
22	アール・エス・エル	8	8	0	0	0	0
23	アール・エス・エル	8	7	0	0	1	2
24	アール・エス・エル	7	3	2	0	1	2
25	アール・エス・エル	7	6	0	0	1	5
26	アール・エス・エル	7	7	0	0	0	0
27	アール・エス・エル	7	7	0	0	0	0
28	アール・エス・エル	7	7	0	0	0	0
29	アール・エス・エル	6	5	2	1	4	0
30	アール・エス・エル	6	5	5	0	0	0
31	アール・エス・エル	5	5	0	0	0	0
32	アール・エス・エル	5	5	0	0	0	0
33	アール・エス・エル	5	3	0	0	0	2



戸建て新築919件、前年比18.4%増、一般分譲 前年同期比18.4%増、一般

北九州市が7割占める
2012年第3四半期、北九州市圏の建築確認総数は1176件。前年同期(11年第3四半期)比で57件減少(4.6%)。前年同期(12年第2四半期)比では1件増(0.1%)と横ばいの状況。

確認総数を地区別に見ると、北九州市857件(都市圏全体に占める割合72.9%)、遠賀・中間・行橋地区138件(11.7%)、豊前地区121件(10.3%)、豊前地区60件(5.1%)。

地区別の前年同期および前年水準との増減は、北九州市(前年同期比11.6%、前年水準比5.4%)、遠賀・中間地区(5.3%、13.8%)、行橋・豊前地区(21.6%、13.0%)。種別では個人住宅・新築919件、アパート・新築49件、その他208件。前年同期比は個人住宅・新築919件、前年比18.4%増、一般分譲前年同期比18.4%増、一般

5位・第一ホーム、6位・昭和建設 7位・セキスイハイム、8位はタマホーム

9位は21棟の谷川建設。前年比4棟増で15位からのベスト10入り。10位は18棟の分譲住宅を含む20棟を着工したアール・エス・エル。11位以下の主な業者は、大手メーカーでは12位に18棟のミサワホーム(前年比3棟減)、13位に17棟の14棟の一条工務店(6棟減)、19位に12棟のパナホーム(7棟減)と住友林業(23棟減)、21位に10棟のトヨタホーム(7棟減)がランクアップしている。

9位に谷川建設、10位アール・エス・エル、11位アール・エス・エル、12位アール・エス・エル、13位アール・エス・エル、14位アール・エス・エル、15位アール・エス・エル、16位アール・エス・エル、17位アール・エス・エル、18位アール・エス・エル、19位アール・エス・エル、20位アール・エス・エル、21位アール・エス・エル、22位アール・エス・エル、23位アール・エス・エル、24位アール・エス・エル、25位アール・エス・エル、26位アール・エス・エル、27位アール・エス・エル、28位アール・エス・エル、29位アール・エス・エル、30位アール・エス・エル、31位アール・エス・エル、32位アール・エス・エル、33位アール・エス・エル

大英産業、首位を堅持 2位に43棟の東宝ホーム 3位に積水ハウスと大和ハウス工業が並び

2012年第3四半期、北九州市圏「業者実績」は、前年に続き大英産業が首位を堅持した。実績は62棟で、前年比13棟の増加。地区別では北九州市51棟、遠賀・中間地区10棟、行橋・豊前地区1棟。実績のムラが少なく、2位は43棟の東宝ホーム、3位は31棟の積水ハウスと大和ハウス工業。前年比で積水ハウスは3棟減、大和ハウス工業は3棟増で8棟からランクアップしている。

5位は29棟の分譲住宅を供給した第一ホーム。遠賀郡の「ユニエクスラン」の美坂では25棟を供給している。6位は27棟の昭和建設。「サニードン」のまちなちで分譲住宅、建築条件付住宅など17棟を着工している。上位2社を地元ビルダーが占めた。

7位は26棟のセキスイハイム。前年比12棟の実績減で3位からランクダウンした。8位はタマホーム。実績は前年比2棟減の24棟で、10位からランクアップしている。

9位は19棟の分譲住宅を供給した第一ホーム。遠賀郡の「ユニエクスラン」の美坂では25棟を供給している。6位は27棟の昭和建設。「サニードン」のまちなちで分譲住宅、建築条件付住宅など17棟を着工している。上位2社を地元ビルダーが占めた。

表1) 2012年7~9月/北九州市圏の住宅着工状況(建築確認ベース) (件)

地区	新設住宅			その他(C) ※(F)含む	総数 (A+C)	プレハブ住宅	
	個人(A)	アパート(B)	(D)			(E/B)%	
北九州市	661	47	708	149	857	135	19.1
遠賀郡	97	0	97	15	112	7	7.2
中間市	24	0	24	2	26	3	12.5
行橋市	96	2	98	23	121	17	17.3
豊前市	41	0	41	19	60	4	9.8
計	919	49	968	208	1,176	166	17.1
前年同期比	-3.3%	-38.0%	-5.9%	2.0%	-4.6%	-19.8%	-
11年7~9月	950	79	1,029	204	1,233	207	20.1
12年4~6月	836	87	923	252	1,175	216	23.4

表2) 個人住宅の内訳 (件)

地区	合計 (A+F)	新築			増築 (F)
		(A)	一般	分譲	
北九州市	670	661	458	168	35
遠賀郡	100	97	60	35	2
中間市	24	24	16	5	3
行橋市	98	96	78	10	8
豊前市	43	41	34	1	6
計	935	919	646	219	54
前年同期比	-2.9%	-3.3%	-7.7%	18.4%	-16.9%
11年7~9月	963	950	700	185	65
12年4~6月	865	836	560	227	49

分譲も大英産業首位 第一ホームが2位、3位にアール・エス・エル 4位にブイハウスと大和ハウス工業

分譲住宅ランキング
今期、北九州市圏では219棟の分譲住宅が供給された。地区別の供給状況は北九州市168棟(都市圏全体に占める割合76.7%)、遠賀郡35棟(16.0%)、中間市5棟(2.3%)、行橋地区10棟(4.6%)、豊前地区1棟(0.5%)。北九州市で都市圏全体の4分の3超が供給されている。

「分譲ランキング」首位は前年に続き、57棟を供給した大英産業。北九州市で48棟、遠賀・中間地区で9棟を供給した。前年比で9棟増加している。

2位は29棟の第一ホーム。前年比14棟減だが、ランクは同順位。遠賀郡の「ユニエクスラン」の美坂では25棟の供給実績。3位は18棟のアール・エス・エル。北九州市で13棟、遠賀・中間地区で5棟の供給。4位は北九州市で10棟を供給したブイハウスと大和ハウス工業。大和ハウス工業は「風薫る街 曲里II」のユニシティ棟の木坂」などでの実績。

健康商品を製造・販売のファイテン ションに本格参入

ファイテンは、健康商品を製造・販売するファイテンを製造・販売するファイテンは、一般住宅のリノベーションに本格参入する。ネットワークなど健康商品に利用しているファイテンを配合した建材を使った改装を今後展開していく。

同社ではこれまで、病院やホテル、老人ホームなどで「アクアチタン」と呼ぶナノレベルまで細かくしたチタン素材を配合した建材を使用した「ファイテンフラット35」の12月買取申請数が64%増と保証型の買取申請と付保申請実績によると、12月10~12月の買取申請戸数は前年同期比6.4%増の3万7446戸となった。付保申請件数は28.1%増の1233戸。買取実績戸数は22.5%減の2万2639戸、付保実績戸数は72.3%減の38戸。金額ベースでは、買取実績金額が19.1%減の6001億6611万円、付保実績金額が65.4%減の10億4170万円。

不動産流通近代化センター 「不動産コンサルティング技能登録者」の名称変更 「公認 不動産コンサルティングマスター」

不動産流通近代化センターは、同センターが試験を実施し、技能登録者を行って「不動産コンサルティング技能登録者」の名称を「公認 不動産コンサルティングマスター」に改めた。「不動産のマスター」として日々研鑽を積んでほしい」との思いを込めた。受験資格者を従来の宅地建物取引主任者と不動産鑑定士のほか、一級建築士にも拡大。技能登録の有効期間は5年間。登録証を持っていないか、有効期限が切れた場合、15年3月末までに有効な登録証に更新しないと技能登録を継続できなくなる。

フジヤースコーポレーション、株式会社ファイヤースコーポレーションの名称決定

フジヤースコーポレーションは、株式会社ファイヤースコーポレーションの名称を「株式会社ファイヤースコーポレーション」に決定した。フジヤースコーポレーションは、グループ企業再編を進める。既に株式移転により持株会社に移行することを表明しているが、4月1日に設立する持株会社の名称を「株式会社ファイヤースコーポレーション」とすることをこのほど決定した。

フジヤースコーポレーションの代表取締役は、フジヤースコーポレーションは3月27日に上場廃止予定で、株主に新規上場するフジヤースコーポレーションの株式を1株に対して100株を割当交付する。ホールディングスの新規上場日は東証の審査にもよるが、4月1日の予定。

最終的にはホールディングスの傘下にマンション事業のフジヤースコーポレーション、戸建事業の新会社、管理事業とチャトルバス運行事業の統合会社を配する形となる。

合格をめざすあなたにおすすり!!

平成25年度 **合格特訓講座** 2月13日開講!!

宅地建物取引主任者 初め

平成25年度 登録実務講習募集開始!

九州不動産専門学院ク

入学し、勉強し、取得した!

合格体験談 宅地建物取

「中卒の私が見事宅建試験に合格しました」

「答案紙